

【成長戦略課題】「シャインマスカット」の安定生産・輸出拡大に向けた病害虫対策の確立(R7～9)

果樹試験場

背景・目的

- 近年の異常気象や収穫期間の長期化により、シャインマスカットでは黒とう病やコナカイガラムシ類による被害が頻発し、出荷量の減少や品質低下が問題となっている。
- 海外輸出には植物検疫、農薬の残留基準値のクリアが必要となるが、国内と海外で基準値が異なり、輸出の障害となる。

《目的》

より効果の高い病害虫対策の確立
輸出・検疫を想定した防除体系の実証

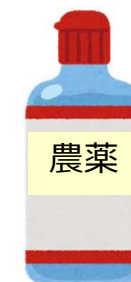
安定生産
輸出拡大



黒とう病の被害



コナカイガラムシ類
の被害



残留基準値

国内 → ○

海外 → ✕

研究内容

1年目

1 黒とう病対策の強化

- ・新たな防除法(果房浸漬)の検討
- ・感染生態の詳細な調査

2 コナカイガラムシ類対策の強化

- ・果房侵入経路、世代、時期の解明
- ・発生種の実態調査

3 ブドウの海外輸出対策

- ・主要防除薬剤の残留分析

2～3年目

- ・有効薬剤の選抜、新たな防除法を組み込んだ防除体系の検証(年次反復)

- ・新たな物理的防除法(果実袋)の検討(年次反復)
- ・防除適期の再検証



- ・輸出・検疫を想定した防除体系の検討(年次反復)



期待される効果

- ・安定生産がより強固なものとなり、県産ブドウの品質が向上し、農家所得の増大につながる。
- ・ブドウの海外輸出に向けた防除体系が実証され、県産ブドウの輸出拡大に資する。

病気や害虫が
少なくなって、
収量が増加したぞ。

今度はうちの
ブドウで海外輸出に
チャレンジしよう。

